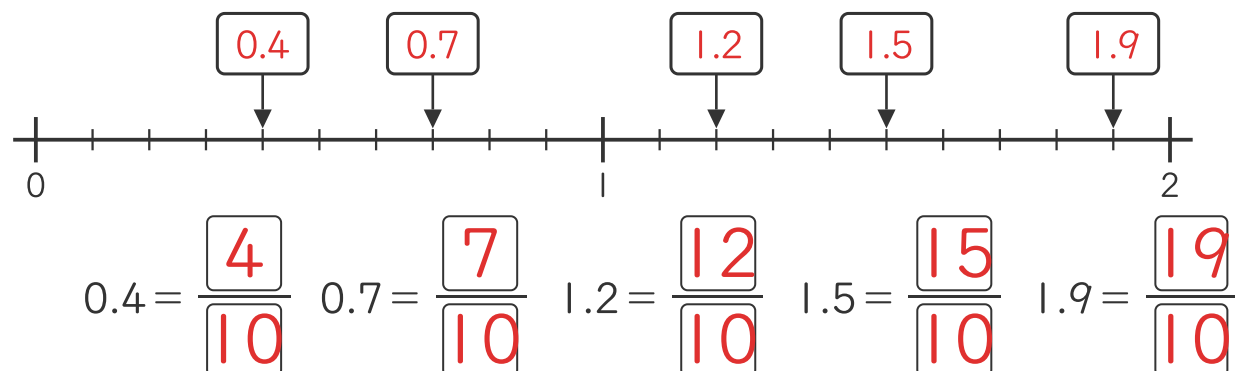


こたえ 数直線と分数・小数

はってん
発展 ②

- ① 数直線の□にあてはまる小数を書きましょう。また、その数を分数でも表しましょう。



- ② つぎの2つの数の、ちょうど真ん中の数を、小数で書きましょう。

$\frac{1}{2}$ と 0.7	$\frac{1}{4}$ と $\frac{3}{4}$	0.2 と $\frac{2}{5}$
0.6	0.5	0.3

$\frac{3}{5}$ と 1	1.5 と $\frac{9}{5}$	$\frac{1}{5}$ と $\frac{1}{4}$
0.8	1.65	0.225

- ③ $\frac{2}{5}$ より大きく $\frac{1}{2}$ より小さい小数を、1つ書きましょう。

こたえ (れい) 0.45

- ④ 0.3 より大きく 0.4 より小さい分数で、分母が20のものを1つ書きましょう。

こたえ $\frac{7}{20}$

おうちの方へ

- 分数も小数も、同じ数直線の上に表せます。2つの数の真ん中の数は、
(2つの数の和) ÷ 2でもとめられます。
- ③ : $\frac{2}{5} = 0.4$ 、 $\frac{1}{2} = 0.5$ なので、0.41～0.49ならどれでも正しい。
- ④ : $0.3 = \frac{6}{20}$ 、 $0.4 = \frac{8}{20}$ なので、その間は $\frac{7}{20}$ 。